



tanpopo block

- 都市に咲く黄色い花畑 -

□ concept

これは都市に存在する、点字ブロックの中に花を咲かせる新たな提案である。

■ 点字ブロック

そもそも点字ブロックとは、その突起により視覚障害者の方を安全に誘導するために地面に敷設されたものであり、一般からの認識としては無理解・無頓着な人が多く、見えているにも関わらず見えないものとして意識している。

tanpopo block はガラスを用いることで、すべての人に触覚的・視覚的な刺激を与え、都市の中に小さな花畑をつくりだす。

■ ポケットパーク

既存のブロックをガラスブロックに置き換え、その中がポケットパークとなる。それはわずか 30 cm × 30 cm といった小さなスペースに咲いた都市の中の花畑である。横断歩道の手前には大きな花畑のように、店先には黄色い花道となって連なる。

暖かな春の風、タンポポが咲く事で人は季節の変わり目に気づき、また新たな気持ちでスタートを切る。都会の喧騒の中、街を行き交う人が普段何気なく気に止めていなかった黄色いブロック。ふと、足もとを見ると小さなタンポポが咲いていた。

□ 点字ブロック



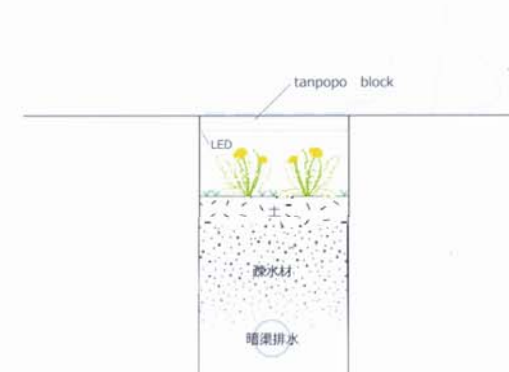
点字ブロックは私達の身の周りや、都市に多く存在し、目の不自由な方へ大切な役割を果たしている。黄色になっている理由は、景観への配慮のためである。tanpopo block はそのような重要な役割を持っている点字ブロックを、見ても楽しい気持ちにさせてくれる、全ての人へのサインである。

□ 循環



自ら綿毛についた種子を飛ばす性質と、tanpopo block がガラスで覆われている特性から成長過程が繰り返される。

□ section



地下にパイプを通して水を循環させる。また、白色 LED により、夜間また違った風景として都市を照らす。

□ perspective



花から綿毛に変わる。ふわふわと柔らかな地面が都市に現れる。